

1



2

企画展

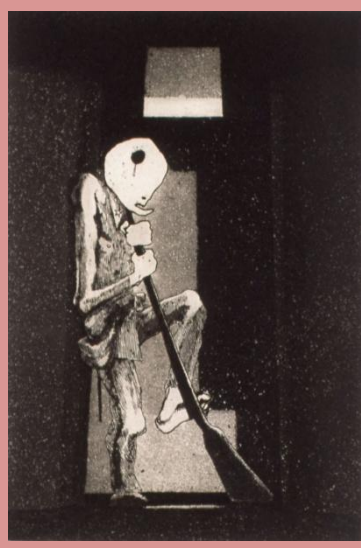
1950年代の日本美術

——戦後の出発点

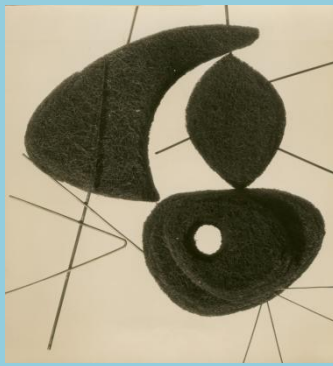
2017年1月28日|土|—3月26日|日|

休館日: 月曜日(3月20日は開館)
開館時間: 午前9時30分—午後5時(入館は午後4時30分まで)
主催: 神奈川県立近代美術館

観覧料: 一般1200円(1100円) / 20歳未満・学生1050円(950円) / 65歳以上600円、高校生100円
*中学生以下と障害者手帳等をお持ちの方(および介助者原則1名)は無料です。その他の割引につきましてはお問い合わせください。
*()内は20名以上の団体料金です。
*「1950年代の日本美術」展をご覧の方は、同展の観覧券で同日に限り「コレクション展3」もご覧いただけます。
*ファミリー・コミュニケーションの日: 毎月第1日曜日(今回は2月5日、3月5日)は、18歳未満のお子様連れのご家族は、割引料金(65歳以上の方を除く)でご覧いただけます。



3

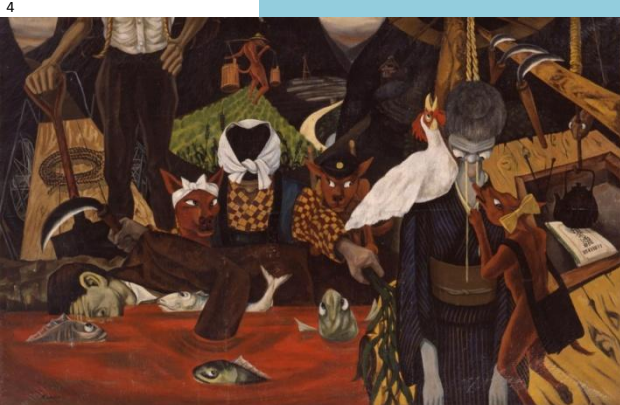


5

Japanese Art of the 1950s:
Starting Point after the War



6

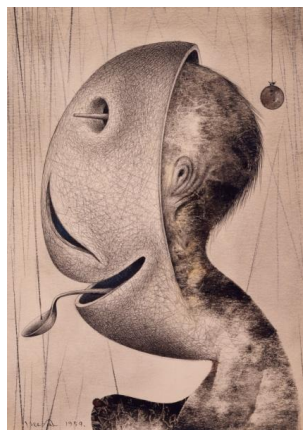


4

現代から見つめ直す—実験工房、アンフォルメル、具体、ルポルターージュ絵画 etc.

戦後5年を経た1950(昭和25)年から1960年に至るまでの10年間は、社会や政治における急激な変化の時代であると同時に、美術の新しい局面が次々に拓かれた重要な時代でもありました。銅版画〈初年兵哀歌〉シリーズで知られる浜田知明や、不条理な社会事件を絵画で追及した山下菊二、ジャンルを超えて自由な表現を求めた「実験工房」、関西を拠点に先鋭的な活動を行った「具体美術協会」の活動もこの時期に始まりました。神奈川県立近代美術館が日本初の公立の近代美術館として開館したのも1951年でした。

本展では、多様化していく表現形式や、復興とともに変化を遂げる社会と美術の関わりを、半具象やアンフォルメルなど、この時期に特徴的な絵画表現の展開とともに再検証します。絵画、彫刻、版画に加え、具体美術協会の記録映像(1957、58年/大阪新美術館建設準備室蔵)、実験工房「オートスライド」(1953年/個人蔵)、映画『銀輪』(1956年/東京国立近代美術館フィルムセンター蔵)など貴重な映像を含む約100点を展示し、戦後の傷のまだいえぬ中であって、新たな芸術を生み出そうとした1950年代の美術家たちの動向を、現代に生きる我々の眼で見つめ直します。



7

1950年代の日本美術 ——戦後の出発点

関連企画

●オープニング・イベント 1月28日(土)

①記念講演会「私の50年代、そして友人たちのこと」(仮題)

講師:池田龍雄氏(アーティスト) 午後1時30分-3時

会場:神奈川県立近代美術館 葉山 講堂

* 申込不要(当日先着70名)、無料

②巻上公一氏(音楽家)によるパフォーマンス 午後4時-5時

会場:神奈川県立近代美術館 葉山 展示室

* 申込不要、無料(ただし「1950年代の日本美術」展の当日観覧券が必要です)。

●壁画《女の一生》葉山移設記念イベント

旧鎌倉館から葉山館に移設された田中岑の壁画《女の一生》について、記録映像上映と修復担当学芸員の伊藤由美によるトークを行います。

日時:2月4日(土) 午後2時-3時

会場:神奈川県立近代美術館 葉山 講堂

* 申込不要(当日先着70名)、無料

●学芸員によるギャラリートーク

日時:2月11日(土・祝)、3月4日(土) 各日午後2時-2時30分

* 申込不要、無料(ただし「1950年代の日本美術」展の当日観覧券が必要です)。

●ワークショップ

①「音とかたち 電子音楽を聴いて図形楽譜をかいてみよう」

講師:檜垣智也氏(作曲家・アコースティックギター奏者)

日時:3月25日(土) 午後1時30分-3時30分

* 要申込(定員20名)

②「モビールをつくる」2月5日(日) 午後1時-4時

「フォトグラムをつくる」2月12日(日) 午後1時-3時

「土ねんどで描く」2月25日(土) 午後1時-3時

* 要申込(定員各15名)

* 参加無料(ただし「1950年代の日本美術」展の当日観覧券が必要です)。

* 対象:小学生以上(小学3年生以下は保護者同伴)

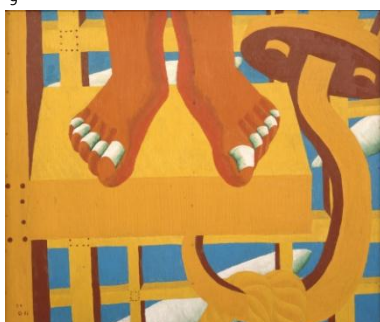
* 申込方法は当館ウェブサイトをご覧ください。



8

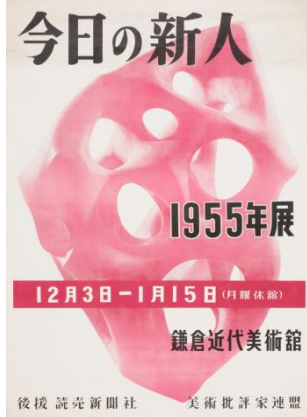


9



11

- 山口勝弘《ヴィトリヌスNo.47(完全分析方法による風景画)》1955年 東京国立近代美術館蔵
- 金山康喜《静物(コーヒーポットのある静物)》1954年 当館蔵
- 浜田知明《初年兵哀歌(歩哨)》1954年 当館蔵
- 山下菊二《あけぼの村物語》1953年 東京国立近代美術館蔵
- 構成:斎藤義重、撮影:大辻清司《APNのための構成》1953年 当館蔵
- 毛利武士郎《手の中の眼》1955年 当館蔵
- 池田龍雄《仮面》1959年 横須賀美術館蔵
- 映画『銀輪』(監督:松本俊夫、製作:新理研映画) 1956年 東京国立近代美術館フィルムセンター蔵
- 田中岑《女の一生》1957年 当館蔵
- 「今日の新人 1955年」展ポスター 1955年 当館蔵
- 穀嘯(クレーンと人)1954年 横須賀美術館蔵



10

お問合せ先

〒240-0111 神奈川県三浦郡葉山町一色2208-1 Tel.046-875-2800 / Fax.046-875-2968 / メール: info.kinbi.474@pref.kanagawa.jp

美術館ウェブサイト <http://www.moma.pref.kanagawa.jp> 公式ツイッターアカウント@KanagawaMoMA

展覧会担当:西澤、橋 広報担当:土居、川人、児矢野